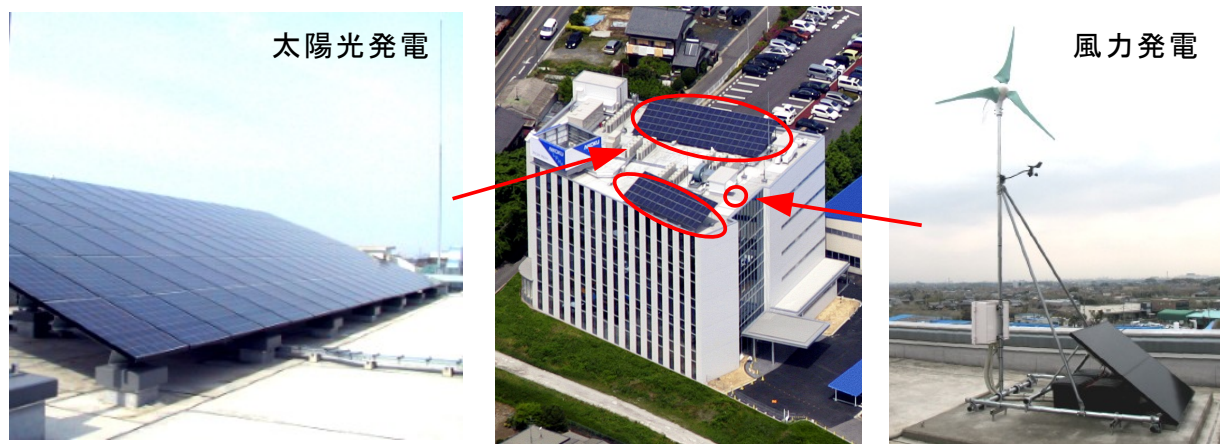


我が社が太陽光発電などを進める理由

自然の力を利用した太陽光発電や風力発電を、今わが社が肅々と継続的に展開していくことで、「人間の顔」「お金の顔」のみならず、「地球の顔」も強く意識した企業活動をこれからも推進していきたいからです。



◇ 太陽光発電 “2012年 9月完成予定” “2013年 8月完成予定”

今後、建設する新工場には、太陽光発電を取り付ける計画です。
HT山崎南工場設置パネルは、2006年本社ビル設置のものより、発電効率が1.2倍良くなっています。

HT 山崎南工場（建設中）” 新 第9工場（建設予定）”



	本社ビル	HT山崎南工場	新 第9工場
パネル面積	260㎡	360㎡	720㎡(計画中)
定格出力	30kW	50kW	100kW(計画中)
	2階3階の電灯分	南・北工場の電灯分	山崎南工場の2倍

回覧確認欄

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇ 風力発電 “5月上旬 稼働開始”

MS(事)へ専用ソフト開発を依頼

心配される風切り音の対策として、ある風速帯でブレーキが掛かるソフトをMS(事)に開発依頼し、組み込んであります。実際の風による設定は、運用しながら調整していきます。

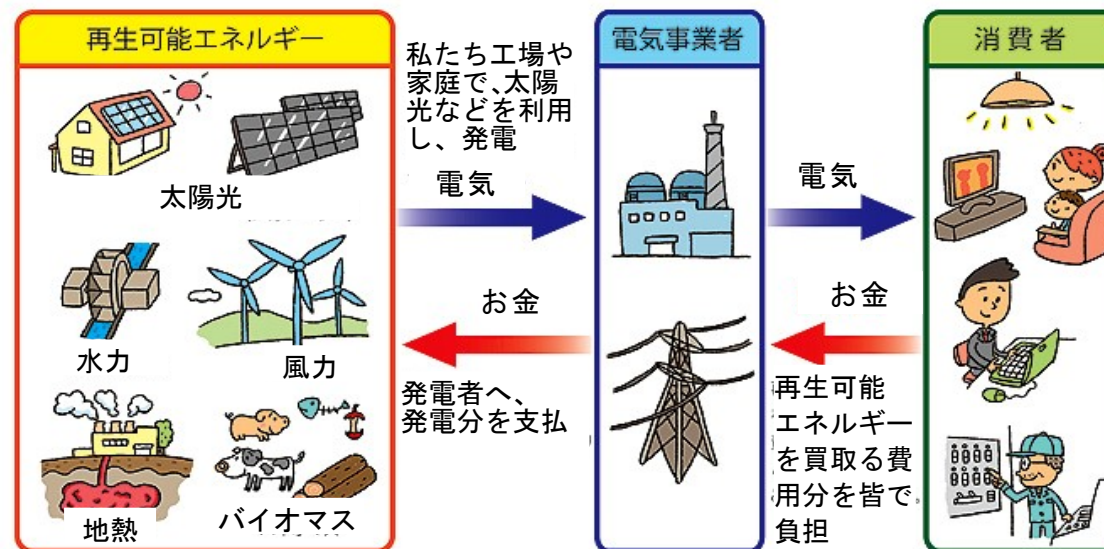
ローター直径	1,800 mm
定格出力	1.1kW

従来の「太陽光発電の余剰電力買取制度」から、
7月1日スタート

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』へ

従来の制度では、太陽光発電から発生する余剰電力（自家消費した分を差し引いた余りの電気）は、法令で定める条件により電力会社を買取っていました。
新制度では、太陽光以外にも水力・風力・地熱・バイオマス発電まで拡大され、発電した分は全量を買取る制度です（家庭での発電は従来通り余剰分だけの買取）。
現在、買取価格は検討されていますが、例えば太陽光発電の予想は35～40円/kWhです。ちなみに、電気料金は、家庭23円/kWh、工場11円/kWhぐらいを支払っています。

【新制度イメージ】 政府広報オンライン ホームページより



この制度は、皆で支え合って再生可能エネルギー発電を増やしていこうというものです。結果的に、CO2排出の抑制に繋がります。
一方、より効率のよい生産や電力のきめ細かい運用を心がけるなど、エネルギー使用全体を減らす努力が求められます。